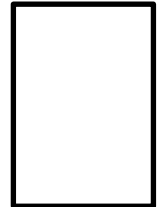


窓クリンフィルムサンプル評価簡単ガイド

このたびは窓クリンフィルムにご興味をいただきありがとうございます。
各種資料をご覧いただき事前のご評価をよろしくおねがいいたします。

貼る はじく みえる 窓クリンフィルム®

標準タイプ 100 mm×150 mm 採用比率 約 50%
超強力タイプ 95 mm×145 mm 採用比率 約 45%
(DRYタイプ 90 mm×140 mm) 採用比率 約 5%



- 剥離フィルムをはがして、製品本体の粘着面を窓の内側に貼りつけてください。
- 縦長にして貼った方が、切削液が凝集し、撥水しやすくなります。
- タイプは粘着力の違いのみです（表面は同じになります）
- まずは標準タイプ、超強力タイプを並べて貼ってご評価ください。
- 数日お試しいただき、剥がれなければ標準タイプで OK です。
- 標準タイプ、超強力タイプは水貼り方法をご参照ください。
- 超強力タイプはポリカ窓の、強力に貼りつけたい場合にご使用ください。
- DRY タイプはガラス窓かつ切削液の量が多い場合で、超強力でもはがれた場合の対策として別途ご用命ください。
- 貼ってすぐに機械をうごかす場合はがれる可能性が高まります。
- 貼りつけ後 1 日以上あけてから機械を動かすことをおすすめします。
- 超強力タイプは剥がす際に場合によっては糊が少し残る場合がありますが、市販の糊とりスプレーなどをご使用いただければきれいになります。
- 海外製(D 社製)のコーティング付きのポリカ窓については貼る前に隅のほうでパッチテストを行ってください。ハードコートの密着が悪く、表面コーティングが剥がれる可能性があります、(日本製のハードコートポリカでは剥がれないことはテスト済です)

表裏が分からなくなった場合の判別方法は？

- 標準タイプ、超強力タイプはコート面にセロテープなどを貼ると、くっつきにくい面です。剥離フィルムの裏面に貼るとくっつきます。

構成は下記の通りになります。

| |
|-------------------------------------|
| 表面がコート面(製品本体) 約 100 μ |
| 粘着層 |
| 透明剥離フィルム 約 50 μ *こちらのほうが厚みが薄いです |

- 透明剥離フィルムの裏面角部分にセロテープなどをつけると剥離フィルムがはがしやすくなります。